

# 公民館だより

# 和田

## その2

第366号  
 令和7年2月7日発行  
 日置市吹上町和田地区公民館  
 電話 099-296-3031  
 ホームページ <http://wada.jpn.org/>



**おひさま運動**  
 (お) はようの声ひびく 思いやり育てる やさしいまち  
 (ひ) ろげよう読書 感動あふれる 学びのまち  
 (さ) わやかな汗 心と体きたえる 健康なまち  
 (ま) もろう決まり みんなでつくる 安全なまち

### 事故ゼロの作業を目指して

#### 刈払機・チェーンソー取扱い講習会開催

1月18日(日) 和田水土里クラブと地区公民館産業部の共催により刈払機・チェーンソーの取扱い講習会を開催しました。



美しい農村景観を残すために、農道や市道、河川愛護作業を各自治会で取り組んでいます。

作業を安全に行うには、刈払機やチェーンソーを正しく使うことが重要です。

今回は、かごしま森林組合勤務・森林インストラクターの下野 照太さん(上和田)を講師に刈払機・チェーンソーの安全な使用方法や機械の日常点検などについて学びました。

講義では「チェーンソーの正しい取扱い」について学習し、実技で実際に機械を使って日常的な点検及び手入れ方法を実践しました。

参加者の皆さんからは積極的に質問が交わされ、意識の高さが伺われました。

刈払機やチェーンソーは、ホームセンターなどで簡単に購入できます。正しい取り扱いを学ばないままに間違った使い方をすると大きな事故につながります。日頃から正しい取り扱いと、こまめな点検・整備に努め、事故のない安全な作業を心がけましょう。

### 水土里クラブ活動

#### 農村文化の伝承；鬼火焚き



中和田;高くそびえる櫓に炎が走る様子は壮観です

1月12日(祝) 中和田自治会と下和田自治会で鬼火焚きが行われました。

鬼火焚きは、年末年始の間に正月飾りについて悪霊(厄)を追い払い、今年一年の無病息災を祈る鹿児島県の伝統行事です。

和田地区では、水土里クラブの農村コミュニティ活動として取り組んでいます。

地域の人々の絆を深める行事として、現在まで大切に受け継がれています。

#### 荳岡ひまわり団地入居者募集中!!

地区は「和田に子どもの声を」、「和田小学校の児童増を」願い、子育て世帯を優先して入居できる市営住宅を誘致しました。現在4戸が空いています。地区では、子育て環境に優しい地域を目指し取り組んでいます。

団地に入居し、元気なひまわりっ子と一緒に遊び学んでみませんか。

家賃は、月22,000円から(収入により決定)間取りも素敵です。内覧する価値ありですね。

### 和田地区公民館講座をご紹介します!

和田地区公民館では、多種多様な講座を開講しています。

#### 【学級活動】高齢者学級・女性学級

学級活動は、参加者の知りたい・やってみたいの気持ちを実現するため、市の行政講座などを活用し、様々な学びの活動を行っています。

#### 【公民館講座】アコースティックギター&ウクレレ教室

成果発表会後に記念撮影



初心者は基礎から丁寧に、経験者は技術向上を目指して、楽しく学んでいます。

#### 【自主学习グループ】ハーモニカ教室 フラダンス教室・やさしい園芸教室

夏祭りや文化祭で大活躍のハーモニカやフラダンスの文化活動から野菜作りの学びの場まで、和田には素敵な自主グループの皆さんが活動しています。

好きの気持ちで集まった仲間たちで充実した時間を過ごしています。

#### 公民館講座受講生募集!

各講座の詳しい活動内容は、次回発送の回覧文書をご覧ください。おためし体験や見学、大歓迎です!ぜひお気軽に見学・参加してみてくださいね。

※新規講座も開設予定です。お楽しみに!

### お知らせ

2月22日(日) 県下一周駅伝応援後に行われる「和田地区グラウンドゴルフ大会」は、雨天の場合、体育館にて室内競技の「ペタンク」と「モルック」を行う予定です。昨年、大変盛り上がった競技です。

みなさまのご参加を心よりお待ちしております!



### 3月の行事予定

日	曜	行 事
1	日	中和田;市道・河川草払い作業
5	木	地区公民館役員・総務教養部会 19:30
6	金	第4回地区未来ビジョン策定委員会 18:30
8	日	荳口;ウォーキング&語ろう会
9	月	ハーモニカ教室 10:00
12	木	第4回地区公民館運営委員会 19:30
13	金	文書発送 女性学級閉級式 19:30
14	土	フラダンス教室 13:00
15	日	瀬谷;総会
20	金	春分の日;休館
23	月	ハーモニカ教室 10:00
24	火	和田小学校卒業式
27	金	文書発送
28	土	フラダンス教室 13:00
30	月	和田地区公民館監査 13:30
31	火	荳口;引継ぎ総会

# 公民館だより

# 和田 その1

第366号  
令和7年2月7日発行  
日置市吹上町和田地区公民館  
電話 099-296-3031  
ホームページ <http://wada.jpn.org/>



地区のテーマ;『ずっと住みたい地域を目指して』  
三世代 仲よく、住んでよし 学んでよし、  
和田地区・和田小学校  
和田地区人口:総人口/405人 男性/193人 女性/212人 世帯数/231世帯 8.2.1現在

## 令和8年日置市消防出初式開かる

1月11日(日)日置市消防出初式が、伊集院総合運動公園で開催されました。表彰式の他に、団員による放水演習、分列行進など日頃の訓練の成果が披露されました。午後からは日頃の尽力に感謝して消防協力会による慰労会を開催し日頃の労をねぎらいました。

昨年末には平鹿倉で火災が発生、消防団の懸命な消火活動により怪我人なく鎮火することができました。日頃から火の元には十分気を付けて過ごしましょう。



永年勤続表彰 堀明人さん20年、福添良広さん30年

【団員紹介敬称略】現団員名  
分団長;福添良広 副分団長;下園忠征  
部長;坂口宏・田中浩昭  
班長;堀明人・高見敬三  
馬籠有一・小山田明人  
団員;宇治野優平・田中宏和・堀ノ口尚遠  
下野照太・鈴木健壯・鈴木康助  
田中晶一・田中健一・馬籠貴樹

### 団員を募集しています!

地域の安心安全を守るために、  
どうかあなたの力を貸してください。

## 令和7年度日置市生涯学習表彰 受賞



### 市社会教育関係優良団体・個人の芸術文化部門で下園秀志さんが表彰されました。

下園さんは、永年にわたり、消防団、自治会長として地域の発展に貢献するとともに、伊作太鼓踊りの継承者として約30年にわたり踊り手として活動し、その後は和田保存会長を務め郷土芸能保存伝承者として後進の指導に寄与されています。長年のご尽力に心より感謝申し上げます。

## 吹上地域史跡めぐり歩こう会のお知らせ

開催地;和田地区(下和田~苜岡の史跡)  
日程;令和8年2月21日(土)  
時間;8:30受付 9:00出発  
集合;和田地区公民館  
今回は、和田地区内の史跡をめぐりながら、専門家の方から史跡にまつわるお話を聞きます。和田の歴史を知る良い機会です。参加希望の方は、吹上中央公民館へ事前に申し込みください。電話296=2124



## みんなで和田の未来を考えよう 第3回未来ビジョン策定委員会 開催



1月22日(木)に3回目となる地区未来ビジョン策定委員会を開催しました。

はじめに館長より農村RMO事業の令和8年度からの国方針変更に伴い1年早めて農村RMO導入する旨の説明がありました。

### 令和8年度から農村RMO活動一般型(令和8~10年)に前倒して挑戦

理由は、一般型が令和8年度で終了し、次年度からは地域連携型になり自己負担(50%)を伴うこと。地区では自己負担を伴う事業導入は難しいため、「住みやすい魅力ある和田」の未来ビジョン達成には農村RMO事業は必要であるため取り組むことを決めたものです。(事業費は、年500万円)

総務教養部会では、一般型事業の導入には役員負担も生じるものの、人口減少・高齢化の進む中、高齢になっても安心して暮らせる「持続可能な集落運営」を実現するためには、今その仕組みづくりを考え、行動することが重要であることから事業を取り入れることを決断しました。

### ★グループワーク(分科会)では…

**農地保全** 重要課題「草刈りの負担が大きい、作業者が減っている。」

論点;作業者の減少と作業範囲が広い。

**🔍解決策** ⇒大型機械化、法面張りコン化、作業報酬のアップ、耕作面積に応じた参加人数の見直し、作業日の柔軟化(平日短時間に分散化)、退職者の生きがいづくりに、作業と移住促進につなげる仕組みを

### 生活支援 課題「役員のなり手不足」

論点;仕事との両立が困難、土日に行事が集中、提出資料が複雑化(パソコン操作が必要)、人前で話すことの負担感

**🔍解決策** ⇒軽い行事からの参画機会提供、行事見直し(統合・時間短縮)、役割の細分化、女性・子連れ参加促進、業務簡素化、地区内の自治会を統合し支部化など

### 地域資源活用 課題「地区の魅力発信」

論点;SNSや広報が弱い、自然資源を活かしたい、行事の魅力を高めたい

**🔍解決策** ⇒魅力発信の場やまとめる人がいない、交流の場が不足している

公民館イベント部を創設し具体的にイベント企画(鬼火焚き+マルシェ、和田山の神駅伝+焼肉イベント)FMラジオ開設、SNS広報体制の整備が提案。小さなイベントでも成功体験を重ね、地域の一体感を醸造

### ※みんなの「こうならいいな」を形に

今回は、個人で「こうならいいな」という考えをまとめた後にグループで協議しました。参加者は、真剣に自身や地域と向き合い考えをまとめ、グループで課題への対応策まで深く掘り下げた協議を行いました。

第4回目では、地区の将来を見据えて提案された数々の貴重な意見をまとめ、未来ビジョンの土台を作り上げていきます。